

東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター 基幹研究部門
界面計測スマートラボ 助教公募

1. 募集人員： 助教 1名
2. 所 属： 東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター 基幹研究部門
界面計測スマートラボ
3. 職務内容： 特別推進研究「超タイコグラフィによる微視的非平衡状態の可視化プラットフォームの構築」（代表：高橋幸生教授、2023～2029年度）に関連し、星野准教授と協力して、X線光子相関分光法を中心とした放射光X線を用いた研究に取り組んでいただきます。主に非平衡状態のダイナミクスについてテーマを設定し、研究を進めていただきます。
特別推進研究：https://kaken.nii.ac.jp/ja/file/KAKENHI-PROJECT-23H05403/23H05403_saitaku_gaiyo_ja.pdf
4. 応募資格：博士の学位を取得した方、もしくは採用時まで取得見込の方。ソフトマター物理または物性物理のバックグラウンドを持つことが望ましい。放射光利用の経験は特に求めません。
5. 採用予定年月日： 2024年 4月 1日以降できるだけ早く
6. 勤務地：〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 青葉山新キャンパス 東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター
7. 待遇
 - (1) 勤務形態：常勤
 - (2) 任期：2025年3月31日まで（更新する場合があります。年度更新、最大5年）
 - (3) 給与等 国立大学法人東北大学職員給与規程に基づき支給
 - (4) 勤務時間：専門業務型裁量労働制。8時30分～17時15分を基本とし、各人の裁量に委ねる。
 - (5) 休日：土日祝日・年末年始（12月29日～1月3日）
 - (6) 有給休暇等：年次有給休暇は本学規程に基づき付与。その他特別休暇有
 - (7) 社会保険：文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険加入
その他国立大学法人東北大学職員就業規則等による
http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kitei-etsuran/reiki_taikei/r_taikei_01_04.html
8. 提出書類：下記の書類をメールの添付書類（PDF ファイル）で提出。
 - ①履歴書（住所・電話番号・E-mailなどの連絡先情報を含む）
 - ②研究業績リスト：原著論文、国際学会プロシーディングス、総説および解説論文、著書、特許等に種別すること。全共著者名を記すこと。
 - ③その他参考となる資料：教育実績、学会活動、受賞歴、社会的貢献実績、競争的資金の実績など

④現在までの研究概要（A4、2枚以内）

⑤研究・教育計画および抱負（A4、1枚以内）

⑥本人について意見を聞くことのできる方2名の氏名・連絡先

- ・提出書類は採用審査のみに使用し、本選考に関係のない第三者には開示しません。
また応募書類は返却しません。

9. 書類提出・問い合わせ先：

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1

東北大学 東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター 基幹研究部門

星野 大樹

Tel: 022-217-5648

e-mail: taiki.hoshino.c7@tohoku.ac.jp

10. 応募締切： 令和6年2月29日

※適任者の採用が決まり次第、募集を締め切ります

11. 選考方法

書類選考の上、面接審査等により決定します。

12. その他：

- ・東北大学は多様性、公正性、包摂性（Diversity, Equity & Inclusion : DEI）を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <http://tumug.tohoku.ac.jp/dei/>

- ・雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- ・学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学 - みんなが主役 - 多様な性に関するガイドライン」を制定しています。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

http://tumug.tohoku.ac.jp/tu_guideline_rev2-2/

- ・東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員22名）及び青葉山みどり保育園（定員116名）の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園（定員120名）があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

- ・その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

<http://www.tumug.tohoku.ac.jp/>

人事企画部 WEB ページ <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>